令和5年度。行方市立麻生東小学校 学校経営グラジドラ



教育目標

自らの力で 未来を切り拓くことのできる児童の育成

組織目標

- 誰一人取り残さない一人一人に応じた学習指導を行う。
- 一人一人を大切にした集団活動を行う。
- 学校や地域の特性を生かした教育活動を行う。

教育スローガン

みんなが生き生きと活動できる学校 子供も 教師も 保護者も 学校に関わるみんなが

【茨城県の教育日標】

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う 郷土を愛し 協力し合う心を育てる

> 【行方市教育プランの基本目標】 新たな価値を創造し 郷土と社会の未来を切り拓く 人間の育成

> > 【行方市の重点施策「5つの矢」】

1の矢 学力向上 2の矢 豊かな心

3の矢 いじめ、長欠・不登校対策

4の矢 特別支援教育

5の矢 幼児教育

<目指す児童の姿>

進んで学び、自分の考えをもつ児童

- 1) 自らが考え、学習課題の解決に取り組める授業を行います。
- ・話し合い、学び合う麻生東小授業スタイルの実践
- ICT機器の効果的な活用(道具としてのタブレットPC)
- 2) 基礎的・基本的な知識・技能を定着させます。
- ・個に応じたきめ細かな指導
 - (TT(※)、通級指導、教科担任(社会科·音楽科)
- ・スタディタイム (月・水・金) による学び直し
- ・家庭学習や授業における学び直しの計画的な実施
- 3) 特別支援教育を充実させます。
- ・個別の指導計画、個別の教育支援計画による計画的な指導
- ・合理的配慮(※)の実現3)

<目標とする結果>

【県学力診断のためのテスト】全学年県平均正答率以上 【児童の自己評価】

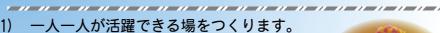
- ・自分で考え、自分から学習に取り組んでいる(R4:96%→R5:98%)
- ・タブレットPCを積極的に活用している(R4:87%→R5:90%)
- ・家庭学習に計画的に取り組んでいる(R4:87%→R5:90%)

※TT…2人以上の教師による指導(ティームティーチング)

※合理的配慮…障害特性や困りごとに合わせて行われる配慮のこと

豊かな心の育成

<目指す児童の姿> 自分のよさを発揮し、 他者のよさを見付けて協力できる児童



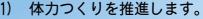
- ・児童がつくる学校行事の実施
- ・学級活動、委員会活動、縦割り活動の充実
- ・「居場所」「絆」のある学級集団づくり (グループ活動、係活動、当番活動)
- 2) 一人一人を大切にします。
 - 生活アンケート(毎月)、教育相談(6月・11月)の実施
 - QUテスト※(年2回)による学級経営への活用
- 3) 道徳教育を推進します。
 - ・「考え、議論する道徳」授業の実践(毎週)
 - 一人一人の人権を意識した指導(人権教育)
 - 進んであいさつすることの実践

<目標とする結果> 【児童の自己評価】

- ・学校は楽しい(R4:91%→R5:93%)
- みんなで何かをするのは楽しい(R4:96%→R5:97%)
- ・自分にはよいところがある(R4:86%→R5:88%)

※QUテスト…学校生活における児童生徒の満足感や意欲、学級集団の状態 等を質問紙によって測定するもの

<目指す児童の姿> 心身ともにたくましい児童



- 体育の授業の工夫(学習カード、ICTの活用)
- 体育的行事(陸上記録会、運動会、持久走大会、業間運動)
- ・体力テスト、健康診断結果の活用
- 2) 食に関する指導を行います。
- ・給食時のワンポイント指導の実施
- ・栄養教諭による食育の授業の実施
- 3) 健康・安全教育を推進します。
- 清潔検査(月2回)による基本的な
- 生活習慣の確立
- ・外部講師による健康教育の実践
- ・歯科医と連携した歯科保健指導
- 発達段階に応じた交通安全教室の実施

<目標とする結果>

【体力テスト】 A + B判定 (R4:72%→R5:75%)

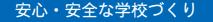
【児童の自己評価】

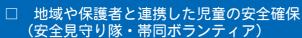
- ・休み時間に、外で元気に遊んでいる(R4:83%→R5:85%)
- ・好き嫌いをしないで食べている(R4:77%→R5:80%)
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」ができている(R4:89%→R5:90%)

【虫歯未処置者】(R4:12.5%→R5:11%)

保幼小中連携の推進

- □ 合同研修会の実施
- □ 授業や行事の参観、体験活動を通しての相互理解 □ 麻生中学校区小中一貫教育の計画に基づく実践





- □ 避難訓練や防止教室等の計画的な実施
- □ 定期的な安全点検による学校環境の整備

地域とともにある学校づくり

- □ 学校運営協議会(CS)による開かれた 学校づくり
- □ 行方市教育支援ボランティアの活用 HPや各種メディアによる情報発信
- □ 学校評価の実施と結果の公表

教職員の資質能力の向上

校内研究の充実 校内研究のテーマ

「自ら課題を解決できる児童の育成~評価からの授業改善を通して~」 □ 1人1台のタブレットPC等のICTを活用した指導力向上のための研修

- 教員評価の積極的活用(目標の連鎖と成就感・達成感、意欲の向上)
- □ 学校コンプライアンスの徹底と、風通しのよい職場の雰囲気づくり □ 働き方改革への取組
 - (勤務時間外の在校時間:2か月連続での45h超ゼロ)



